

自転車国内販売動向調査月報

平成24年7月分

この月報は、当協会が実施している全国100標準小売店（各車種を一通り取り扱う、従業員が3人までの店舗）を調査対象にしている自転車国内販売動向調査の調査結果をとりまとめたものです。全国の自転車販売の基調となる動向を示すものとしてご活用願えれば幸いです。

調査設計：全国を9地域に分け、合計で100店舗になるよう各地域に人口、自転車保有台数、自転車店舗数を考慮した調査店舗数を割り当てました。各地域に含まれる都道府県は次のとおりです。なお調査店舗は年度毎に一部を入れ替えています。そのため対前年比の値は参考値です。

北海道・東北：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川

北関東：茨城、栃木、群馬

中部：山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

北陸：新潟、富山、石川、福井

近畿：三重、滋賀、奈良、和歌山

京阪神：京都、大阪、兵庫

中国・四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

販売：1店当たり17.8台、前月比9.2%増

車種別構成比：シティ車19.7%、ホーム車37.4%、折りたたみ車3.5%、子供車6.6%、幼児車3.5%、マウンテンバイク2.5%、スポーツ車10.6%、電動アシスト車6.6%（中古車10.1%）

1. 調査店1店当たりの販売台数（総合）

[全国9地域 店舗：100]

(平成24年7月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.9	19.7	2.8	15.2	139.3	3.5	17.2	111.4
ホーム車	7.4	37.4	7.0	38.0	105.7	7.6	37.3	97.4
折りたたみ車	0.7	3.5	0.6	3.3	116.7	0.6	2.9	116.7
子供車	1.3	6.6	1.3	7.1	100.0	1.2	5.9	108.3
幼児車	0.7	3.5	0.4	2.2	175.0	0.6	2.9	116.7
マウンテンバイク	0.5	2.5	0.6	3.3	83.3	0.5	2.5	100.0
スポーツ車	2.1	10.6	2.4	13.0	87.5	2.6	12.7	80.8
電動アシスト車	1.3	6.6	1.3	7.1	100.0	1.6	7.8	81.3
合計	17.8	89.9	16.3	88.6	109.2	18.2	89.2	97.8
中古車	2.0	10.1	2.1	11.4	95.2	2.2	10.8	90.9
総合計	19.8	100.0	18.4	100.0	107.6	20.4	100.0	97.1
モーターバイク	0.5	2.5	0.6	3.3	83.3	0.5	2.5	100.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

2. 地域別車種販売台数・比率（1店当たり）

（平成24年7月）

[上段：台数(台) 下段：比率(%)]

車種別 地域(店舗数)	シティ車	ホーム車	折りたた み車	子供車	幼児車	マウンテ ンバイク	スポーツ 車	電動アシ スト車	小計	中古車	合計	モーター バイク
北海道・東北 (15店)	2.3	4.1	0.3	1.4	0.9	0.5	1.7	1.6	12.8	2.6	15.4	1.0
	14.9	26.6	1.9	9.1	5.8	3.2	11.0	10.4	83.1	16.9	100.0	-
北関東 (5店)	2.6	10.2	0.2	1.2	0.2	0.2	1.2	1.0	16.8	3.0	19.8	1.0
	13.1	51.5	1.0	6.1	1.0	1.0	6.1	5.1	84.8	15.2	100.0	-
南関東 (20店)	4.8	11.0	0.8	1.3	0.5	0.9	1.5	2.0	22.6	2.5	25.1	0.5
	19.1	43.8	3.2	5.2	2.0	3.6	6.0	8.0	90.0	10.0	100.0	-
北 陸 (7店)	1.3	3.7	0.7	1.4	0.6	-	4.3	0.4	12.4	2.3	14.7	0.9
	8.8	25.2	4.8	9.5	4.1	-	29.3	2.7	84.4	15.6	100.0	-
中 部 (13店)	7.7	9.5	1.4	1.2	0.6	0.8	3.5	1.4	25.9	1.6	27.5	-
	28.0	34.5	5.1	4.4	2.2	2.9	12.7	5.1	94.2	5.8	100.0	-
京阪神 (14店)	4.9	10.0	0.7	1.6	1.4	0.1	1.6	2.3	22.6	1.4	24.0	0.2
	20.4	41.7	2.9	6.7	5.8	0.4	6.7	9.6	94.2	5.8	100.0	-
近 畿 (6店)	1.7	1.5	0.5	0.8	0.5	0.2	1.5	0.7	7.3	1.5	8.8	1.0
	19.3	17.0	5.7	9.1	5.7	2.3	17.0	8.0	83.0	17.0	100.0	-
中国・四国 (10店)	4.3	8.1	1.1	1.6	0.9	0.7	3.4	0.4	20.5	1.5	22.0	0.6
	19.5	36.8	5.0	7.3	4.1	3.2	15.5	1.8	93.2	6.8	100.0	-
九 州 (10店)	1.2	2.6	0.2	0.6	0.2	0.4	1.1	0.3	6.6	1.9	8.5	-
	14.1	30.6	2.4	7.1	2.4	4.7	12.9	3.5	77.6	22.4	100.0	-
合 計 (100店)	3.9	7.4	0.7	1.3	0.7	0.5	2.1	1.3	17.8	2.0	19.8	0.5
	19.7	37.4	3.5	6.6	3.5	2.5	10.6	6.6	89.9	10.1	100.0	-

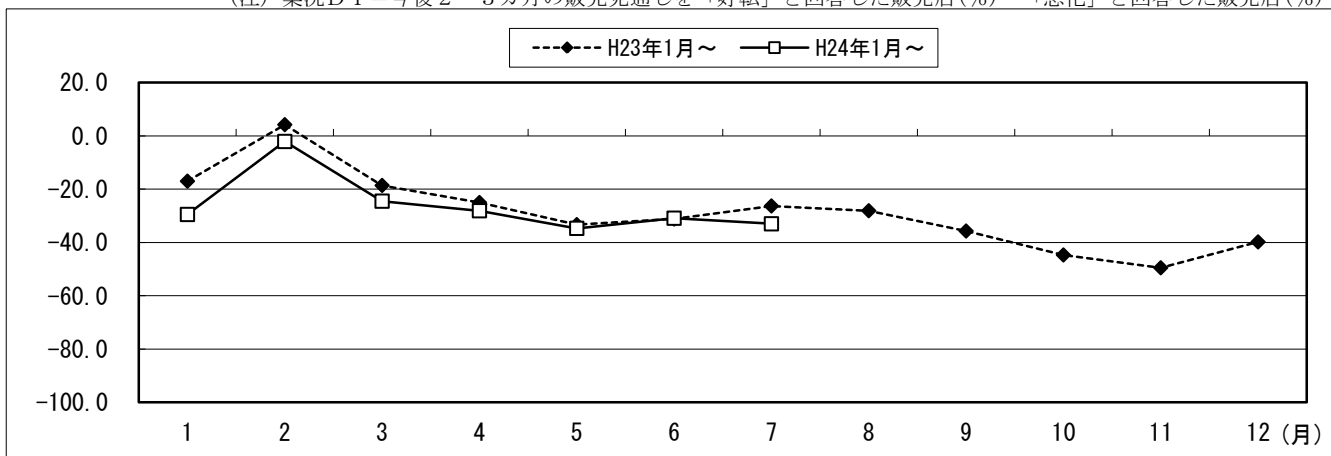
3. 1店当たり車種別仕入・在庫状況

（平成24年7月）

車種別		シティ車	ホーム車	折りた たみ車	子供車	幼児車	マウンテ ンバイク	スポーツ 車	電動アシ スト車	合 計	
仕 入	本 月(台)	3.3	6.6	0.7	1.1	0.6	0.6	1.7	1.3	16.0	
	前 月 比(%)	126.9	101.5	100.0	100.0	200.0	200.0	77.3	108.3	107.4	
	前年同月比(%)	122.2	97.1	140.0	100.0	120.0	120.0	85.0	86.7	103.2	
在 庫	本 月(台)	13.4	19.4	2.9	6.1	4.1	3.1	9.7	2.8	61.4	
	前 月 比(%)	97.8	99.0	103.6	100.0	105.1	110.7	99.0	100.0	100.0	
	前年同月比(%)	115.5	121.3	116.0	110.9	102.5	110.7	119.8	116.7	116.1	
在庫率	在庫/販売(倍)	3.4	2.6	4.1	4.7	5.9	6.2	4.6	2.2	3.4	
仕入：1店当たり 16.0台		在庫：1店当たり 61.4台		在庫率：3.4倍							

4. 業況D I の推移

(注) 業況D I = 今後2～3カ月の販売見通しを「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)



5. 自店や他店の動向、消費者ニーズ、メーカー・卸への要望等（抜粋）

平成24年7月

【北海道・東北】

- よい天気が続き、前年同月比125%であった。続くことを願い営みます！！（北海道）
- 7月末で前年並みに自転車、電動アシスト車は売れたが、修理が減少！ 残り少ない時期に在庫を残さずは無理だが、がんばるしかない！（北海道）
- 全然自転車が売れない…。（北海道）
- 6、7月は前年よりプラスとなりましたが4、5月の落ち込みはなかなか回復できない。（北海道）
- 春の出足で販売、修理はよかったですのですが、7月以降例年にくらべて落ちてきました。何か対策しないと今年は終わりそうです。（青森県）
- 1月から7月までの前年比をみれば、新車は月末になってようやくスクンク（販売0台）を免れたがやや落ち込み。部品の仕入れは30%減が示すように、タイヤ交換は10%減、全体の修理料金は85%くらいの減である。なぜかパンク修理だけは前年7月の148%であった。（青森県）
- 電動アシスト車とロードバイクで単価が上がりました。（岩手県）
- 今月はシティ車が1台も売れなかった。（宮城県）
- 修理はそれなりにありましたが、販売はまったくの月でした。（宮城県）
- メーカーの営業担当者の話では、6月後半から7月いっぱい成績が出ていないとのこと。当店目標の設定にもよるが、今日の社会情勢と自分の年金からすれば、よしとしよう。（福島県）
- あまりにも暑さが厳しいので、来店客も減少。景気もますます悪くなっていくように思われます。（福島県）

【北関東】

- 天候がよかったので、修理は忙しかった。（茨城県）

【南関東】

- 夏本番、暑くなってパンク、タイヤ交換が増えて、修理売上げアップしました。ただ新車は安価な自転車が多く売れて、販売売上げはよくありませんでした。（埼玉県）
- 今年は不思議な現象が起きている。例年だと、最高気温が30℃を超えると客足は朝と夕方に集中する。ところが連日30℃を超え、35℃前後の猛暑、なんと日中から修理に追われている。原因の1つであると考えられるのが、あまりの暑さで歩きでの行動は無理、徐々に自転車を利用しようと思うのが空気が抜けている。ほとんどが虫ゴムがダメになっていて、同様にタイヤもダメになっている。中途半端な暑さより猛暑の方が商売にはよさそう。（千葉県）
- 通常、通勤・通学車として利用している若い人(特に大学生)たちが、夏休みを利用して自転車旅行、または故郷に帰省するために自転車でチャレンジしたいという声は今年も多く聞かれ、販売店として頼もしい限りです。（東京都）
- 量販店のチラシが朝刊に入ってきた。新車6,900円～、リサイクル車3,980円～、パンク500円、量販店も頭打ちになってきた様子です。安価車でも何年かは乗れるでしょう。この不景気時、みなが大事に乗り、盗難されないよう気をつけるでしょう。いずれ量販店も撤退し、お客様も戻ってくると思います。その間基本通りの仕事と笑顔で迎えていけば、よくなると思います。店をきれいに掃除し、部品の欠品がないようにもう一度点検し、お客様に不便させないように、心がけが大事だと思います。（東京都）
- 前年の数字は何とか上まわりましたが、6月の不足はなかなか補えません。いろいろなお店、チェーン店もありますが、販売する以上きちんと修理を行ってほしい。不完全な技術は迷惑です。お客様にも、真面目にやっている販売店にも。（東京都）
- 今年はいつ、どんなタイミングでもむずかしい。厳しい月を毎回迎えているような気がするし、実際数字は正直に不調を示している。在庫調整もこちらの狙い通りにいかないし、増える一方で正直悩みは深刻。切り替えて次の一手を出さなければ！（東京都）
- 「再就職が決まり、自転車通勤をするので」と、50代後半～60代前半と思える男性がパンク修理で来店。タイヤの摩耗が激しく、他の部品も傷みがひどいため、中古車を5,000円で販売した。以前このような場合、タイヤ交換を勧めると他店で10,000円前後の新車を購入されてしまうケースが多かった。これから先、さらに中古車の価格も乱れるような感じがする。（東京都）
- 夏場、収入が見込めるタイヤ・チューブ交換の本数が伸び悩んだ。8月のタイヤ・チューブの仕入れは、例年より慎重に行わないと過剰在庫になりかねないのでむずかしい。（東京都）
- 価格勝負でも売れない！ 修理も少なく最悪の7月を経験した。後半は不安大！！（東京都）
- 今年は例年にくらべて修理が少なかった。原因としてタイヤの交換が悪い。暑くなると自転車に乗らなくなるのも、関係するのではないかと思います。また老いていく自分たちにも思うこともあります。（神奈川県）
- 今月中頃まで暇だった。後半修理が多くなり、忙しくなってきた。新車の販売はあまりよくなかった。（神奈川県）

【北 陸】

- 「近くに自転車屋さんがなくなって困っていました」といって、遠くから修理に来られたお客様がいました。小さなお店でもあきらめずに商売をしていけば、きっとお客様は来てくれる。自転車店としての自信を持って、毎日暑いけれどがんばろう！（新潟県）
- スポーツ車の2012モデルの終了とか、猛暑とか、大型店攻勢のせいとか、いろいろな原因があるのだろうが、自店の努力や工夫が足りないのだろうか。客足が途絶えて落ち込んでいる。（新潟県）

- 今年の夏は異常な暑さでまっています。自転車の売れ行きも悪いです。修理の方はまずまずあるので、助かります。なかなか商売もむずかしい時代だと思います。(福井県)

【中部】

- 今月はシティ車の大口納入があったり、他の車種も販売できたので、組立て、納車で忙しい1ヵ月でした。ようやく梅雨も終わり、自転車に乗るのにいい季節となり、来客数も多くなり、いろいろな車種の販売ができました。(山梨県)
- 相変わらず新車売上げは低調ですが、タイヤ・チューブの交換が多くあり、修理でがんばっています。(山梨県)
- 景気が悪く、7月の動きは今までになくひどかった。修理で救われている。(長野県)
- 大変暇な毎日である。(岐阜県)
- 各メーカーの2013モデルの発表が始まっていますが、為替の関係で全体的に値下がり傾向になっている。在庫を安くしてでも、店頭在庫を減らしていきたい。(岐阜県)
- 今年も名古屋は暑いですが、消費者のふところは寒いままなのか、暖まったふところから熱が逃げないように、固くひもを絞っているだけなのでしょう。電器量販店は消費者があふれんばかりの熱気なのに、電器メーカーは従業員の切り捨てにかかろうとしています。自転車業界の器はどれくらいのものなのでしょう？ 見ようによってはおもしろい業界なのかもしれませんね。(愛知県)
- 7月は、毎年台数は出るが低価格車が多い傾向だったが、今年は台数は減少したが高価格の商品が多かった。修理もタイヤ・チューブ取替えがいつもの年より多かった。(愛知県)
- メーカーも問屋も販売が悪いため、特売品が多くなってきた。しかし売れ残る色は、なかなか買わない。(愛知県)
- 修理が少ない。(愛知県)

【京阪神】

- 毎日暑い日が続きましたが、夏休みのスタートと同時に売り出しをしました。一般車がよく売れたような気がします。暑いせいか、修理も忙しかったです。8月まだまだ暑くなりそうですが、水分をとりがんばります。(京都府)
- 今月もあつという間の1ヵ月でした。対昨年比販売実績があれば、今の時期安心しています。(大阪府)

【近畿】

- 暑さ厳しい日々が続いていて、少し涼しくなった3時頃から、幼児車や子供車の来店客が重なり合って客の対応に追われるが、好みが多様で売上げにならない。(三重県)

【中国・四国】

- ものが動かないのと、修理も少ない。(鳥取県)
- 最近、ショッピングピンクの自転車が、数は少ないがコンスタントに売れている。若い人ばかりでなく、年配の人も「元気になる色がいい」と買っていかれます。(岡山県)
- 今月はホーム車ばかり続いて売れました。安物も目玉商品として置いてありますが、2万円台から5万円近くするような商品が売れました。ボーナス時期だったからでしょうか。それともよい品物が見直されているのでしょうか？ 後者ならうれしいのですが…。(山口県)
- 販売は低調でしたが、点検整備等で何とか前年並みです。(高知県)

【九州】

- 7月は高級スポーツ車が売れ、前年並みになったが、自転車の販売台数は減少した。夏休みに入り、修理が増えてきた。(福岡県)
- 商況は横ばいといったところであった。ボーナスは早めの官公庁だけ、当地は旧盆とあって一般は8月となるが、支給額100%とはいかない経済状況である。夏休みに続いて梅雨も明けたが、大水害地区を抱えて県内一般の気分は重く、パッとしない状況の下での好況は期待できない。幸いに特注のスポーツ車が揃って入荷した。これで弾みがつけばと来月にかけて猛暑とともにがんばるぞ！！(熊本県)
- 完成車の販売が苦戦しています。パーツ、アクセサリなどの提案をしていますが、なかなか売るのに苦戦しています。(熊本県)
- 旅行や出張で他の街に行った時は、いろんな店舗を見るようにしています。自転車店も大変参考になりますが、他業種店舗も興味深く、店づくりのヒントがたくさんあります。それをどう活かすかが課題です。(大分県)
- 人の動きがよくありません。月末に市の放置自転車販売がありまして、100台中売れ残りは13台。防犯登録、TSマーク付きでちょっと価格は高くなりましたが、初めてでした。修理も価格破壊がくると思います。パンクで来店されても、タイヤがダメ、チューブがダメと、ブレーキもとか営業ができるからです。(鹿児島県)

6. 販売動向の特徴(平成24年7月)

(1) 本月の売れ筋の特徴

[単位：%]

価格帯別構成比

車種別 価格帯(円)	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
10,000円以下	1.8	1.4	4.1	11.0	9.6	7.5	2.9	1.8	1.7	2.3	0.7	0.0	1.4	2.4	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10,001～13,000円	8.1	6.7	12.1	14.9	15.3	15.7	8.6	5.4	10.3	0.8	1.5	0.8	4.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13,001～17,000円	5.5	8.9	6.5	12.2	13.8	13.8	34.3	25.0	17.2	10.2	5.2	4.9	14.5	14.6	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17,001～20,000円	13.1	12.8	10.0	14.4	11.6	10.0	10.0	7.1	5.2	12.5	18.5	16.3	49.3	34.1	34.5	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20,001～23,000円	8.6	10.3	7.4	8.3	9.9	13.0	1.4	8.9	0.0	29.7	23.7	16.3	15.9	31.7	30.9	7.8	0.0	7.5	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
23,001～27,000円	15.9	11.3	13.2	11.0	13.9	12.9	7.1	8.9	13.8	24.2	29.6	34.1	10.1	14.6	7.3	3.9	5.5	7.5	0.5	3.4	1.6	0.0	0.0	0.0
27,001～30,000円	10.2	14.5	13.5	12.1	10.7	9.7	7.1	8.9	8.6	13.3	16.3	22.8	2.9	0.0	0.0	2.0	9.1	0.0	3.8	3.0	0.4	0.0	0.0	0.0
30,001～33,000円	7.0	8.5	9.1	6.4	5.3	6.2	10.0	16.1	3.4	7.0	3.0	1.6	1.4	2.4	1.8	2.0	1.8	1.9	0.9	0.9	2.8	0.0	0.0	0.0
33,001～37,000円	9.4	9.6	10.9	4.5	6.0	5.0	7.1	1.8	12.1	0.0	1.5	1.6	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	5.7	2.8	2.1	6.3	0.0	0.0	0.0
37,001～40,000円	9.4	7.4	5.6	1.8	1.3	3.9	1.4	3.6	3.4	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	5.9	3.6	3.8	3.3	3.9	5.5	0.0	0.0	0.0
40,001～50,000円	8.4	6.4	5.6	2.7	1.7	1.3	1.4	1.8	1.7	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	7.8	12.7	22.6	12.3	11.2	11.8	0.0	0.0	0.0
50,001～70,000円	2.6	2.1	2.1	0.7	0.7	0.9	0.0	8.9	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	30.9	34.0	27.8	30.5	22.0	3.0	2.4	1.9
70,001～100,000円	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	4.3	1.8	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.6	21.8	9.4	19.3	20.2	20.9	42.9	43.7	43.8
100,000円以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.5	10.9	7.5	28.3	24.5	28.7	54.1	54.0	54.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

フレームカラー別構成比

車種別 フレームカラー	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
ブラック系	19.7	16.9	25.8	5.5	5.2	10.0	25.0	33.3	37.0	4.4	10.4	7.1	0.0	5.9	0.0	35.0	45.5	31.8	28.3	28.9	41.3	2.4	1.9	5.7
シルバー系	47.0	39.0	48.4	34.2	42.9	36.3	7.1	16.7	7.4	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	6.5	2.2	0.0	31.7	26.4	35.8
ホワイト系	6.1	10.2	3.2	6.8	3.9	6.3	25.0	4.2	7.4	2.2	0.0	2.4	4.2	11.8	3.8	25.0	18.2	27.3	34.8	31.1	26.1	12.2	11.3	7.5
ブルー系	15.2	15.3	11.3	12.3	7.8	17.5	7.1	8.3	11.1	53.3	58.3	57.1	33.3	11.8	38.5	5.0	9.1	9.1	6.5	6.7	10.9	9.8	5.7	11.3
パープル系	0.0	0.0	0.0	4.1	3.9	3.8	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	4.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	1.9	0.0
レッド系	1.5	5.1	3.2	11.0	11.7	8.8	21.4	20.8	11.1	2.2	2.1	2.4	12.5	0.0	15.4	15.0	9.1	4.5	15.2	4.4	4.3	7.3	7.5	3.8
グリーン系	0.0	3.4	1.6	6.8	3.9	5.0	0.0	8.3	11.1	4.4	8.3	2.4	4.2	0.0	3.8	0.0	4.5	9.1	2.2	15.6	4.3	0.0	3.8	5.7
イエロー系	1.5	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	2.1	2.4	0.0	5.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
オレンジ系	0.0	1.7	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	2.4	0.0	5.9	3.8	0.0	4.5	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	3.8	1.9
ピンク系	4.5	3.4	0.0	9.6	11.7	3.8	0.0	0.0	0.0	6.7	8.3	2.4	37.5	41.2	19.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.4	3.8	1.9
ブラウン系	1.5	0.0	4.8	5.5	5.2	5.0	3.6	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4	24.5	24.5
2色以上・その他	3.0	5.1	0.0	4.1	2.6	3.8	10.7	4.2	11.1	15.6	10.4	16.7	8.3	11.8	11.5	15.0	4.5	18.2	6.5	6.7	10.9	7.3	9.4	1.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 今後2～3カ月間の販売見通し

[単位：%]

区分	好転	横ばい	悪化	業況D I
本月	3.1	60.8	36.1	-33.0
前月	5.3	58.5	36.2	-30.9

(注) 業況D I = 「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)